

第3回八代市文化ホール等あり方検討会 会議録

開催日時	令和2年11月6日(金) 13:30~15:30
開催場所	八代市公民館 研修室

■出席委員

会長	本田 恵介	委員	岩崎 布見子	委員	多田 満
副会長	丁畑 幸美	委員	柏 昭子	委員	中山 英朗
委員	水本 和人				

■欠席委員

委員	森山 学	委員	川村 健治	委員	石本 愛
----	------	----	-------	----	------

■市出席者

職	氏名	職	氏名
経済文化交流部次長	一村 勲	厚生会館館長	林田 安夫
文化振興課長	鋤田 敦信	厚生会館主査	坂梨 英司
文化振興課長補佐	下津 恵美	総合支援担当主査	坂本 友和

■その他の出席 なし

■傍聴者 なし

■協議事項

<p>協議事項</p> <p>(1) 施設の効果的な活用策についての検討</p> <p>① 指定管理者制度とは(資料①)</p> <p>② 他の自治体の文化ホール施設概要及び取り組み例(資料②)</p> <p>③ 八代市の文化ホール施設概要及び取り組み例(資料③)</p> <p>④ ホール運営や企画についての着眼点(資料④)</p> <p>⑤ 参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度県内自主文化事業実績及びホールの有効活用策(資料⑤) ・熊本県内の主な公立文化施設のホール定員(資料⑥) <p>その他</p> <p>八代市公民館現場視察</p>
--

■会議録(要約)

【はじめに】

- ① 会長挨拶
- ② 前回会議発言についての補足説明

【案件】

第2回検討会において委員からの質問「運営方針が作られて数年が経過するが、今まで適切な評価の積み重ねやフィードバックはあるのか」に対し、「十分なフィードバックが行われていない」と事務局より回答した件について。

【事務局から】

厚生会館、鏡文化センターでは、毎年、各事業に関する評価を実施しており、市全体として毎年実施する「事務事業評価」や、年1回開催の「厚生会館運営連絡協議会」において、各種事業の検証、分析を行い、今後の方向性や改革改善の取り組み等の洗い出しを行っている。また自主文化事業終了後には来場者アンケートにより、市民が望み、市民の文化意識高揚に繋がるような充実した自主文化事業を企画運営するべく検討を重ねている。

十分な考えがまとまらないまま不用意に回答した点も含め訂正説明あり。

【議事1】

(1) 施設の効果的な活用策についての検討

- ① 指定管理者制度とは（資料①）
- ② 他の自治体の文化ホール施設概要及び取り組み例（資料②）
- ③ 八代市の文化ホール施設概要及び取り組み例（資料③）
- ④ ホール運営や企画についての着眼点（資料④）

事務局から資料①～④について説明

《委員》

八代市内のホールのうち3つは直営で、桜十字ホールだけ指定管理している。また他の自治体の4施設についてはすべて指定管理ということであった。

《委員》

八代市内の4つのホールの概要は分かった。

八代市内の4つのホールのこれからの方向性を（事務局に）出してほしいという話だったが、市の方は委員会側に出してほしいということである。具体的に時間もないため、まずは厚生会館の方向性を決めないといけないと思う。方向性が分かって初めて舵を切ることもできる。まずは厚生会館を活かしていくのか壊すのか。検討委員会で一生懸命話しても結局は維持は無理だという結論になる可能性もある。もう58年余り手を掛けてきておらず、また隣の伝承館も夏ごろに完成する予定であるが、これも問題山積。どちらも足を引っ張ってしまう。まず駐車場がない施設に人はほとんど集まらないと思う。裏の幼稚園の敷地についても今後伝承館ができると妙見祭関係のトラックなどの交通

が多くなり、まさかというような事故があるかもしれないと想定される。

しかし、どちらにしても厚生会館は改修工事をしないと絶対このままでは使えない。安心安全もない。そうすると収益性の上がないこのような施設に膨大な資金をかける余力は市にはないと思う。

検討委員会に具体的な案を求めるのであれば、もっと事務局と対話していかなければならない。もっと未来に向けて、若者の10年、20年先の未来はどうあるべきかという視点から考えたほうが可能性は出てくると思う。桜十字ホールに厚生会館の利用客が流れているが、どこも同じような500人程度の座席数である。これらの同規模の会館を三つも四つも市は維持できない、だからこの委員会が立ち上がった訳であるから、つまりシステムを変えないといけない。破壊と創造という刺激的かもしれないが、このコロナの収束後は新しい時代への切り替えが必要だと思う。そして、この人口密度の低い八代に県外からも人を呼び込めるよう考える必要がある。新幹線の新八代駅近くの土地に思い切ってホール施設を建てたらどうか。八代市より人口の少ない自治体でももっと大きいホールがある。1500人程度から小さくても1200人。そしてホールだけの一本ではなく複合施設で、マルシェなどもできるようなことを考えるべきだと思う。人が集まり、相乗効果の見込めるようなホールを考えるべき。資料からも八代市の方が人口が全然多い。大学や専門学校を作るなど、若者が八代に定着するような計画は立てられないのか。目先のことばかりではなく10年、20年未来のことを考えて、何を次世代に残していけるのかということ考えるべきである。もちろんすぐにとということではないが、その点を事務局はどう考えているのかお尋ねしたい。

《事務局》

厚生会館に関しては、現状、再開できるのかどうか劣化度調査を行っているところである。床や吊り天井などどのくらいかかるのか。最終的な報告が来年1月末に出る予定でありその前に今年12月中旬にある程度概算の金額が出る予定であるので、次回の12月の検討会で金額も示しながらハード面でどうすべきかも改めてご意見を頂戴できればと思う。

最終決定をするのは市であるが、その方向性を定めるためのご意見として、金額的なものも含めて、委員会でお示しいただければ最終的な報告書にまとめていきたいと考える。

《委員》

改修するなら座席数が相当減ると思う。同じような規模のホールはいらないと思う。厚生会館は58年間お疲れ様でしたという感じ。伝承館も守っていく必要があるし、まず駐車場のない施設には人も集まらない。一応、劣化度調査の報告は待つが、ちょっと

改修は無理ではないかと思う。

《事務局》

座席数については委員の言われる通り減ると考えられる。現在 900 席～1000 席弱であるが、改修すれば 700 席ぐらいになり、同じような座席数の施設になるだろうと想定している。

《委員》

今回の会議で、仮に改修するとなった場合の金額が概算で出るということである。やはりそこがはっきりしないと議論が進まないようである。

《委員》

資料②と資料③について説明されたが、どうせなら同じような比較をしてもらいたかった。八代の 4 ホールについては外枠だけの説明になっているのではと思う。千丁の公民館ホールについても、生涯学習課管理になっているので、ホールとしての利用制限がかかるのであれば、制度を変えるか、逆にホールを活かすか除外するかしないといけないのではないか。

また、稼働率についても桜十字ホールの稼働率は施設全体の稼働率ではないのか。

《事務局》

稼働率は所管課に確認したが、ホールの稼働率で間違いはないということであった。稼働率の出し方については全国的に一律ではなく、分母はほとんどが利用可能日数であるが、分子は、1日に利用が1件でもあれば1カウントとしたり、1日に2団体の利用があれば2カウントとしたりするホールがある。八代市の4施設については、後者のカウントの仕方（同じ日に2団体であれば2とカウントする方法）で統一されている。

《委員》

この稼働率の出し方は全国的に統一されていないため、あくまでも参考程度ということでご了承いただきたい。

《委員》

ここの八代市公民館ホールでは営利目的の使用は不可になっているが、もし指定管理になった場合、ホールを切り離して運営ができるのか。また、そうすれば営利目的でも利用可能になるのか。営利目的の公演が可能となり、入場料を取るような催し物も可能になるのか。

《事務局》

今現状は公民館という扱いであるが、指定管理となった場合はもともと劇場法が適用されていたホールなので、劇場法を適用させて有料公演も可能になると考える。

《委員》

指定管理になった場合は、ホールを生涯学習かから切り離して劇場として利用可能なのか。

《事務局》

指定管理とするとき、条件として管理棟側を公民館、ホール側を指定管理、という形で定めることで利用可能になると思われる。他の自治体でもそのように運営されている例もある。

《委員》

前述の公民館としての使用制限を取り払うという意見は賛成である。

ここ（千丁）のホールは演劇や発表会をするのにとっても使いやすく、観客と舞台が近く、声も良く通り、栈敷席もあり親子席もあるため児童、幼児や子供向けのホールとしてとても安心感がある。公民館になって使えなくなったのがとても残念であった。

もし、新しい形でホールのあり方を考えるのであれば、仮に指定管理になったときに、出来れば市内のホールは同一業者が管理するなど、連携をもって管理できればいいと思う。

厚生会館については、本当はあの外観が残ってくれることを望むが、伝承館ができていく段階でかなり違和感もあり、厚生会館を残していくには相当の金額が必要であるので、少しずつ残してほしいという気持ちが揺らいでいる。交通の便についても、あの周辺は非常に危険である。図書館、裁判所など大きな機能をもった施設が固まっており、中学校も裏にある。あの周辺全体を整備するという視点で考えないと、文化ゾーンであるとともに、大変危険ゾーンである。その辺も考慮して検討いただきたい。

《委員》

いろいろご意見が出ているが、最初に〇〇委員が言われたように、やはり今の厚生会館が改修して今後使えるのかどうかははっきりしないとなかなか議論が進まないと思う。

△△委員が言われるように八代市公民館（千丁）のホールを指定管理制度によって今までのように使えるようになったとして、さらにまた厚生会館がもし改修できるとなれ

ばまた4つのホールに戻ってしまうと、財政上は厳しいのかということになる。

また、もし新しいホールを作るとなれば、そのホールの中に(千丁のホールのような)機能を持たせるということも考えることが可能となる。玉名市でも大ホールのほかにもう一つ小さいホールを設けており、小さいホールのほうにいろんな使いやすい機能を持たせている。

《委員》

皆さんの意見で、厚生会館をどうするかという大きな命題が上がっているが、私は通知をいただいた時には「施設の効果的な活用策について」という議題になっていたのですが、まだまだこの4施設での効果的な活用策はどんなものを話し合うのかなと思ってきた。

それらを話し合っ、12月に厚生会館の劣化度調査を受けて、予算的なものが出てきて、それを受けて、じゃあ、今後八代としてどういった会館のあり方が良いのかを出していくのかなと思っていたので、とりあえずは今ある現状の施設についてそれぞれどんな活用策があるのかを考えなくてはならないと思っている。

私が考えるホールの活用策としては、「日ごろから何となく行ってみたくなるような施設、ついつい足が向くような施設、そこに行けば何かがあるような魅力ある施設」のあり方を考えてみた。

何が魅力になって何が人を惹きつけるのかを考えたとき、まずはロビーをもっと魅力あるものにするべきではと思う。

鏡文化センターについては、第1にロビーをギャラリーにしたらどうかと思う。地域の人たちの作品が効果的に展示されるような、それも一度展示したらそれきりでなくて、期間を定めて展示するなど。友達や知り合いの作品があったらつい見に行こうかなという気持ちになる。人が人を呼ぶという感じである。

2番目に、今まで来館しコンサートをされた方の色紙などが事務室前の廊下に飾っているが、あれはあの場所ではなくロビーに掲示していただき、鏡文化センターにはこんな人たちが来たのかと皆に分かるようにしたらもっと魅力的になるのではないかなと思う。

3番目に施設そのものの魅力発信を考える。鏡文化センターの建物は黒川紀章さんの作品であり、彼の製作意図はどこにあるのかを考えてみた。特徴的なものとして屋根の形が波型になっているが、なぜ波型にしたのかなど、職員にいろいろ調べていただき施設そのものの魅力の発信をしたらいいいのではないかな。

私が鏡文化センターの大好きなところの一つに、事務室のところに絵が飾っているが、あの絵を外から見たとき、大きな窓がそのまま額になっているのがとても魅力的であっ

たり、また野外のステージがあるのも大きな特徴である。

このようないろんな魅力をロビーに掲示したらいいのではないか。地域の人たちにも知ってもらうためにロビーをギャラリーにする方法はとても良いと思う。

また最近駅ピアノ、空港ピアノなどがあるが、ああいうことも何かできないかなあと
思う。また、説明にもあったような、ピアノの日、スタンウェイ独り占めなどのステー
ジピアノ企画も地域の人に楽しんでもらえるのではと思う

このように4つの施設がそれぞれいろいろと考えていくと効果的であるのではと思
う。

そしてその後、大きな命題の厚生会館をどうするのかを考えて行ったらいいのではない
か。

《委員》

当初はコロナも想定していなかったのでだいたい8回ぐらい議論して検討会報告を
取りまとめていく計画だったが、計画がだいぶ変わってきている。今後、12月に劣化
度調査を踏まえて検討会があるということだが、最終的にあと何回検討会があって、結
果どういう事柄について方向を出すことになるのか。それらを踏まえたうえで、それ
に向けて議論したいと思う。

《事務局》

検討会は、12月末ぐらいに厚生会館の劣化度調査の概略を踏まえたうえでの検討会
を1回、そして来年1月末にもう一度開催し、最終まとめを行い、報告書を作成してい
く予定である。その後庁内でも検討会を開き、最終的に方向性を決めていくこととな
るかと思う。厚生会館だけでなく、他の施設についてもそのうち年数がたってくるので
大規模改修なども出てくる、それらを踏まえて、どのような取組を進めて行くべきか、
現在ソフト面ではできること、そしてハードでは将来的にどういう方向でこの4施設をも
って行ったらいいのか、ハード、ソフト両面から報告書を取りまとめていきたいと考
えている。

《委員》

劣化の状態は分かっていると思う。わざわざ調査をしなくても。

《事務局》

目に見える部分としては委員の皆様には第1回目の時に厚生会館の建物の様子を見
ていただいている。あれから時間もたっており、目に見えない内部のことも含めて調査
をして、改修する場合の金額まで出すことになっているので、今後、市の財政状況も考

慮しながら方向性を話し合っていくことになる。次回12月の段階で費用の概略をお示しできる計画としている。

《委員》

市の仕事は非効率的で時間ばかりかかる。我々も限られた会議で、時間内でそれぞれ異なった視点から意見を述べている、その意見を事務局でまとめて資料を作ってもらうのだが、なんとか事務局でそれらをまとめて、ある程度方向性を示すようなことを書いていただければと思う。まずは方向性が分からなければ、一生懸命ソフト面（内部）のことばかり話してても、「はい閉館します」といわれたら無駄になってしまう。

今、指定管理は桜十字ホールだけで、ほかのホールは直営で文化振興課であるが、これまでやってきたことの圧倒的な欠落に気づいてもらわないと同じ事を繰り返してしまうと思う。

制度は変えるべきである。施設の人材として数年おきの配置移動なんてとんでもない。東日本大震災のあとに、何を考えたか。物はあふれるように恵まれてきたが、あとは心の問題である。今は、人が何を求めているのか、共感、優しさ、絆、親近感を人は求めている。日枝会長も言われているが、「誰のために、何のためにこの施設はあるのか、そういう理念と役割をきちんと出さないから、こういう財政面が苦しくなった時に一番にこういう施設がすぐにカットされる。」そこが弱い。きちっと理念と役割を出すべきである。

こういう委員会で話し合ったことをまとめて、ある程度方向性を出してもらわないとこの会議が無駄になってしまう。この会館はどうするのか、桜十字ホールにもっていくのか、そのQ&AのAが事務局はできていない。ある程度で構わないので示してもらいたい。

《事務局》

確かに時間がかかっていることは重々認識している。しかしこの会でも言われている、「ひとが集まる場所」、「文化の継承の場所」、「文化意識の向上をもって八代市の文化をいかに高めていくか、後世に伝えていくか」を視点に検討会で意見をいただいている。

劣化度調査に取り掛かるのが遅くなってしまったことは恥ずかしい限りであるが、12月中旬にはお示しできると思うので、それをもってQ&AのAの部分をつくばお示しできればと思っている。

《委員》

各ホールは地域の要のところに建設されており、八代市内にはハーモニーホールと厚生会館がある。

厚生会館を抜本的に考えないといけない時期だと思う。劣化度調査結果がもし大丈夫ということであれば、後はいかに市民が使いやすくなるように利便性を高めて、伝承館と併せて利用も考える必要がある。

厚生会館のホールを見直したらどうか。座席数を減らすのであれば、前半分を体格に合ったものにして、後部座席をフラットにしてロールバックの座席を作るなども考えてみてはどうか。フラットにした部分をステージに見立てた使い方も可能になるのではないか。

すぐれた音響効果の箱なので、つぶしてしまうのはもったいないような気もする。なにか抜本的な改革をしないと今の状態では厚生会館の存続は難しいだろう。

指定管理については、その管理してもらう範囲の決め方が大切である。指定管理されているホールではホールの入り口ドアが壊れて閉まらずほったらかしになっていたり、現在も1年以上ホールのステージの吊りマイクが使えず録音ができない状態が続いていたりする。これらの費用の工面について指定管理会社から報告が上がってきていたのか不明であるが、直営の方が常に職員の監視の目があると思う。指定管理だと市の職員がいないので音響や照明の機器などの管理がうまくいかないというようなこともある。市の財産の持ち出しも可能であるため他のホールでは、違うホールの備品が使われているようなこともあっていと聞く。管理をきちっとしていかないと市の財産がどんどんよそに流れてしまう可能性がある。だから、直営で管理委託するほうが良いのではないかと私は思う。

また、さきほど言われたような、指定管理会社が東京に本社があるような会社だと、なかなか地元とは合わない。地元が知恵を出し合って考えて行かないと、東京で流行ったものが地方で流行るかといえばそうではない。

営利という概念がどこまでなのか、それを商売としているのを営利とするのか、発表会でお金を取るのも営利なのか。すみわけも必要ではないか。どこまでが営利なのかをきちっとして、もっと気軽に使えるような状況を作っていく必要がある

《委員》

□□委員が言われるのは、いわゆる興行での営利公演と発表会などで最低限必要なコストを最低限解消するための公演との区分けが難しいという趣旨かと思われる。

私も今回の会議に参加して、まず、ハードの問題があったのかなと思う。厚生会館が使えない、これを改修してでも使うのか建て直すのか、相当のコストがかかるし、残りの3つをいままでどおり運営していくのか、市の方でも疑問が上がって、市民の声を反映させたいという趣旨からこの会議を開かれたのだと思う。ちょっとハードの話とソフトの話が両方出てきて整理しづらい部分があって、ソフトの話は仮に厚生会館が使えるとしても、ホールとしてのあり方としては考えていくべき課題はいっぱいあるのかと思

う。来月の会議を踏まえて厚生会館をどうするのかという問題は大きい課題かと思うが、そこが見えたとしてもそれぞれのホールの運営の仕方としては今回整理した着眼点を参考にしながら、直営のままでいくのか指定管理を増やしていくのか。指定管理は単なる仕組みの問題だけなので、結局コストは下がると思うが、コストを下げるとやれることも限られていく。また職員だけでやろうとすると厳しいが、そこに市民に協力していただける方法を考えていくと、コストは維持しながらサービスを増やすことも可能となるかもしれない。それは次の段階で考えていくことであるが、仮に新しいホールを作るにしても従来通りのやり方を続ければものすごいコストはかかると思う。どの部分は市民の力でやっていくのか、どの部分はプロにやってもらうべきでコストをかける、というような整理も必要になる。例えばどれくらい管理運営費が一年間でかかっているのか、事業費として設置者としての自治体から何らかの事業費がもらえているのか、それ次第でできる事業も限られてくる。それによってできる事業のボリュームも変わる。

もう一つ感じたのは、先ほどの4つの自治体の事例ではすべて指定管理であったが、指定管理は例えばA業者は全国展開をしている会社であり、人気のある公演を安く展開できるのは否定しないが、果たしてそれができれば本当にいいのかを考える必要がある。地元の人たちが意見交換をしたり、普段からの付き合いができる人をちゃんと派遣してもらえるのか疑問である。

全国の例を見てみると、そういう業者はやはり収益が第一なので、収益を上げることももちろんだが、コストをカットすることにもシビアである。館長さんも結構移動していて、あまり定着していない例も多い。若手の職員を送り込んで2、3年で他のホールへ異動させているということもある。個人的には、B県の2つは市の指定した文化振興財団が指定管理を受けているようなのでそういう形の方が、市民が長い時間をかけて文化を育てていくことに繋がっていくのかなと思う。

そういうことを検討するのは次の段階かもしれないが、中央の食べ物にされないような運営形態を是非とってもらい、地元の方を信じて地元の方が支えていく会館になることが一番理想かなと思う。

《委員》

▽▽委員の話に付随するかと思うが、指定管理の部分でコストカットがシビアなものという話で実際にあった事例を紹介すると、何をもってコストカットするかですが、カットしていいものと悪いものがあると思う。カットしてはいけないものを平気でやってしまう。夜間のホールの街灯が消えていて、側溝で転倒された事例もある。その後すぐに蓋をかぶせられたが、あのとき街灯がついていれば事故は起こらなかった。市民がケガしてしまうようではいけない。コストカットをしていいことと悪いことを慎重に条件を付けて指定管理をする必要がある。また受付事務室の電話機（内線）がコストカット

のため外されていた。何か事故等があったときの連絡のための電話なのに、意味が分かっていないという事例もある。何のための指定管理なのか。経費をどんどん減らすことばかり、利益優先になると市民も困る事例があったことを事実としてあったことを紹介したい。

《委員》

指定管理は、コストを抑えたり、利用が上がったりすることが指定管理会社の利益となるが、やはり結果的に稼働率を上げることもつながるので、すべて否定するわけではないが、最低限、安全面の確保などがちゃんと担保できているかというところは委託する行政側もしっかりチェックしていく必要がある。

最初に〇〇委員が言われたように、八代市の文化芸術に対する姿勢が、まず「八代市はこうするんだ」というものが何らかの形で表現されていて、それに基づいて、ではホールをどうするのか、文化団体をどう支援するのかに繋がっていくと思う。すぐにはできないこととは思いますが、文化振興基本法や劇場法など行政側の文化に対する姿勢をきちんと明文化してもらって、そのうえで限られた予算のなかでどういう政策を打っていくのかを見せていただいたほうが、皆さんもどこに力を入れて行ってもらいたいという取捨選択がしやすいのかなと思う。今回のあり方検討会と併せて一番根幹の部分、市の姿勢というものを、市民を巻き込んだ形でもいいし行政の中でたたき台を作っていく検討するのもいいし、それがあつたうえでの議論の方がもっと建設的になっていくと思う。

《委員》

厚生会館の方向性からという話ですが、ハード面、ソフト面から話をする、ハーモニーホールは、そもそも出来る時に市民団体の方々が発表の場が欲しいから小さいホール欲しいということでスタートしたと思う。

厚生会館のホールの座席はやはり我々の体格では苦しい状況であるが、厚生会館を潰したあとホールを作るという計画はあるのか。だいたいコンサートをするには最低でも1000人規模以上席はないと難しいといわれている。中途半端なものを作っても仕方がないというのが現状であると思う。人吉カルチャーパレスは結構使われている。熊本でコンサートが終わったあと、人吉でコンサートして県内は終わりという形が多い。本来は八代あたりでやってもおかしくない。そういう外部的な受け入れを月1回受け入れられて、後は自主的に運営できるような当初計画を立てて、建設も含めてホールのあり方を検討していったほうが良いのではないかな。今のホールは人数的な制限もあるわけだから、どんなことをいっても今の状態では、地域の人たちで使ってもらい、使えないときはほかのホールに割り当てるぐらいしか使い道がないのではないかな。

その辺を市が基本的にどう考えられているのか分からないが、文化ホール等あり方検討で同じ規模のホールをどう維持していくのか、というのであれば結論ありきだと思う。管理する行政としてはどのように考えておられるのかを逆に聞かせていただきたい。

《事務局》

厚生会館については改築または廃止するかはこれからの検討である。この検討会の意見を踏まえて市として意見を出す予定としている。規模などもまだ何もきまってはいない。

《委員》

なかなか市の方から検討会を設けて先に市の意見を出してしまうのは難しいと思うし、むしろ市民からの意見を聞いた上でということだろうから、なんとなくもやもやしていると思うが、今回は改修した場合どのぐらいコストがかかるのかも数字が見えてくるだろうし、厚生会館の改修単体で考えていいのか、ほかの3つの会館の状況も併せたところで示してもらえるのか。

《事務局》

ほかの施設についてもすでに20年以上たっているのでそのうち大規模改修なども必要になってくるので、大まかにそれぞれの施設について改修費用などもお示しできるのではと思う。

《委員》

おそらく文化施設全体で議論すべきかと思うので他の施設も併せてご提示いただけたらと思う。

※その後八代市公民館ホールの施設見学